

Taka Gikai

輝

多可町議会だより
2015年(平成27年)11月1日 第40号



9月定例会

- 多可町創生元年 地域資源を活かした町づくりへ ▶2
- 北播磨広域定住自立圏 加西市・加東市と締結 ▶6
- こんなとない これどうなってるの 11人が一般質問 ▶10
- トマト生産農家 吉仲康二さん ▶24

発行 / 多可町議会 編集 / 議会広報編集特別委員会
兵庫県多可郡多可町中区中村町123 TEL/0795-32-4775 FAX/0795-32-4969
多可町議会ホームページ / <http://www.town.taka.lg.jp/gikai/>

写真：多可町産木材に命を吹き込む
チェンソーアート
— 城所ケイジ世界チャンピオン —

プロフィール

1977年12月
中区安楽田生まれ
37歳



トマト生産農家 よしなか こうじ 吉仲康二さん

多可町議会は、多可町を拠点に元気に頑張っている人を応援します。今回は、中区安楽田でトマトの栽培に取り組んでいる吉仲康二さんを訪ね、お話を聞きました。

学を卒業してサラリーマンの時に、都市部で若者が野菜作りを頑張っている姿に刺激を受けて、自分もやろうと決心しました。

現在5アールの定植を年に2回(3月・9月)おこなっていますので、順調にいけば10トンの収穫を見込んでいます。また今年に5アールのハウスを増設する計画です。



丹精込めて作っています

現在の出荷先と今後の販路開拓は。今は北播磨圏内の直売所に卸していて、お客さんに喜んでいただいています。今後は、私の子どもも食べている学校給食の食材として、きれいな水や空気の中で育てた安心なトマトを供給できればと考えています。更に都市部への販路についても検討したいと思っています。

今後の抱負をお聞かせください。トマトの品質を高めながら、農業を通して多可町に人が呼べるようになればよいなと思っています。

多可町誕生から10年、大きな節目を迎えます。甘えから脱却し自らが自家発電しながら地域活性化に繋げていく「多可町創生」のスタートです。まちの魅力を発信し、子どもたちに愛される多可町をみんなで目指しましょう。

今委員での広報紙作成は、今回が最後となりました。住民の皆さんに色々ご協力いただきましたこと、心から感謝申し上げます。

お詫びと訂正
前号14ページの建設課長の答弁で、土砂の流出「の原因である」は「を防ぐため」でした。訂正してお詫びします。

議会広報編集特別委員会
委員長 笹倉政芳
副委員長 日原茂樹
吉田政義・大山由郎
辻 誠一・廣畑幸子

多可町創生元年

地域資源を活かした町づくりへ



愛犬のご褒美にぴったりですよ
— シカ肉入りドッグフード —

多可町創生
ラベンダーで雇用と集客を増やせ

26年度から「ラベンダーパーク多可」のラベンダー株と町内の耕作放棄地を活用し栽培したラベンダー株を原料とし、精油および精油由来商品を製造・販売しています。ラベンダーの6次産業化で雇用を増やし、それに伴う高齢者に優しいまちづくりと、観光事業の活性化による地域経済の循環を目指した取り組みで地域再生ができます。



アロマを生活の中に
ラベンダーの香り

決算規模は

26年度の一一般会計と特別会計をあわせた決算額は、歳入が185億6696万円、歳出が181億6686万円です。この

9月2日から9月30日までの29日間の日程で第65回多可町議会定例会を開催しました。定例会では26年度決算認定や27年度補正予算案のほか、北播磨広域定住自立圏の協定案、3つの請願など22案件が提案され、慎重審査の上、すべての議案を全員賛成で可決しました。

の決算額を前年度と比較すると、歳入で13億4155万円、歳出で12億438万円とそれぞれ減少し、決算規模は歳入、歳出とも前年度を下回る結果となっています。

人口ビジョンをどう考える

多可町では従来から少子高齢化対策、医療基盤整備、雇用確保対策、社会基盤整備など将来人口を見据えた各種施策を実施してきました。しかし、現状は少子高齢化が一層進み、人口減少、とりわけ若年層の流出に歯止めがかかっていません。働く世代の減少により、世代間の支え合いで成り立ってきた医療保険、介護保険、年金などの社会保障制度そのものの維持も困難となってきました。

多可町では合併時2万5千人であった人口が、

2015年では2万2千人と約3千人減っています。人口減少問題は、最大の課題であり、議会は危機感を持ち対処する必要があります。

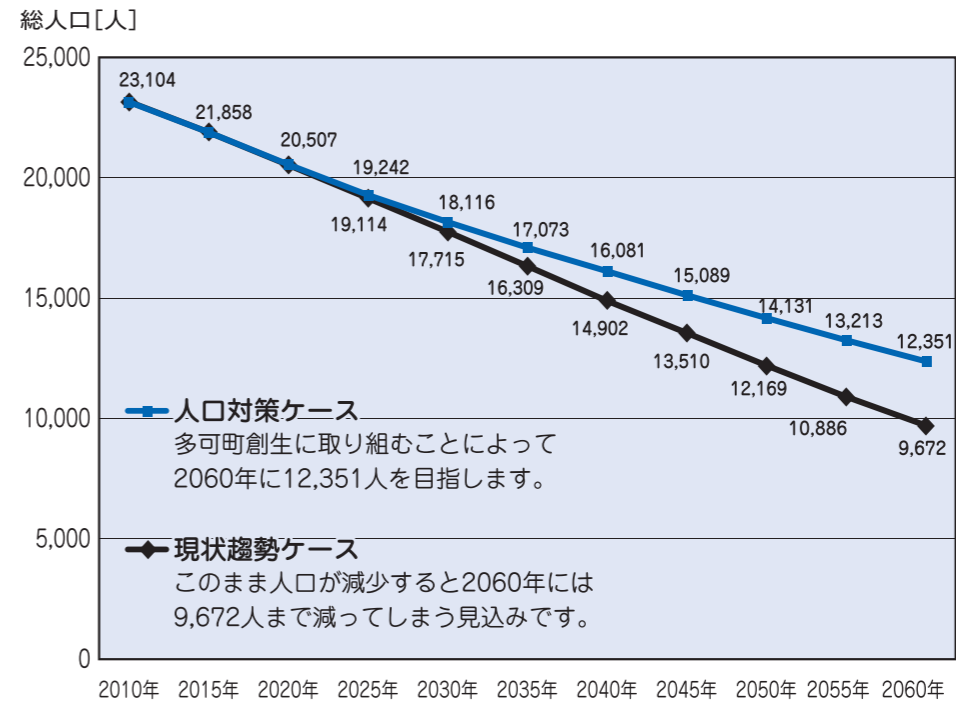


図 総人口の推移 (2010~2060年：人口対策ケース)
出典：三菱総合研究所による推計



森林資源で雇用創出

シカ肉を資源に

旧加美給食センターで有害鳥獣であるシカ肉と地元産野菜を活用して、NPO法人カンピオがベトフード製造販売事業を展開され、雇用にも貢献されています。また、シカ肉を食材として販売するグループもあり、多可町の名物として

てシカ肉料理を広めて、多くの人に来ていただくことで、雇用が生まれ、地域が元気になる予定です。

森林資源を活用せよ

多可町は面積の83%が森林です。この森林資源を生かし、加西市でおこなわれているハウス栽培のトマトや、朝来市の木質バイオマス発電に木質

チップを供給できます。バイオマスエネルギー供給施設の運営・管理など、新しい産業と雇用が生まれ、地域の活性化に貢献します。

高知県馬路村の例

高知市から車で2時間、村の96%が森林で、人口は1300人。この悪条件の中、村の資源である「柚子」を見直し、最大限活用し、商品の開発を進めた結果、年商25億円、顧客35万人まで広げ、新たな雇用の創出に成功しています。「ごっくん馬路村」という印象的な商品名の柚子ドリンクで有名です。

多可町でもラベンダーなどの地域資源を活用すれば地域経済の活性化、雇用拡大につながり、人口減少の歯止めにも期待が持てます。

生きてお金が使われているか

財政健全化と多可町創生推進

人口減少・超高齢化社会の到来、深刻化する環境問題、安全・安心への意識の高まり、地方分権の進展と自治の確立など、行政需要が多岐に渡り、新たな行政サービスの増加が予想されます。

このような社会経済情勢や環境の変化に的確に対応していかねばなりません。

今後、多可町の将来を見通した財政運営と少子高齢化の時代を生き抜く力を問われることとなります。現在の財政状況では、それらの諸問題に対応できません。

そのため、多可町の将来を見据えた財政改革の断行が不可欠です。

特に、財政健全化を進める上では、補助金制度の問題、長年の慣行や既得権など、克服するべき課題もたくさんあります。

議会としても強い決意で、多可町創生に取り組んでいかなければなりません。

こんなこと聞きました

人件費はどれくらい

問 正職員と嘱託職員他の人数と人件費は。

答 正職員は237人、人件費は2億7333万円、嘱託職員は266人、人件費は3億7367万円です。

人員配置の考え方は

問 時間外勤務手当が前年度に比べて増えています。

答 この手当分を使つて住民サービス公社をつくり、雇用を増やしては。他市町でも公社などの実例があるので今後、研究していきます。

徴収の強化を

問 徴収専門員の人員を増やしては。

答 徴収実績は1624件、2918万円です。電話による納付依頼をする嘱託職員が必要と考えています。

財政調整基金の現状

問 26年度で32億2000万円となっていますが適正ですか。

答 標準財政規模の10%、8億円が望ましいとされていますが、庁舎建設などの大型事業があり、合併特例債の償還もありますので、これに充当していきます。

満足度調査の活用は

問 住民満足度調査の結果をどのように活用しているのですか。

答 第2次の総合計画の策定を進める上で反映させます。

指定管理の考え方は

問 農林業公社はハーモニーパークの運営を27年度で打ち切っては。

答 27年度での打ち切りという考えはありません。問 ハーモニーパークの土地借地料の減額は。答 地元と話し合いをしています。

アドバイザー効果は

問 26年度に3名の政策アドバイザーを導入しましたが、その効果は。

答 観光分野、余暇村公園整備、教育子育て分野でアドバイスを頂き、効果は十分あったと思います。



すべり台も人気です
— 余暇村公園 —

「きことあじがと」の広がり

問 敬老の歌のCDを作成して各自治体に配布しましたが、その評価は。

答 敬老会で流されている自治体もあり、九州の商店街では毎日流れています。成果は上がっています。歌と敬老の日発祥の町「多可町」が結びついていないところが課題です。

ベルディーホール自主事業

問 公演の大半が赤字ですが対策はあるのですか。

答 ホールの規模もあり、満席になっても収支の均衡が取れません。魅力的な企画を実施し、ひとりでも多くの皆さんにお越しいただくことにより、赤字額を少なくすることに努めていきます。



日本酒で乾杯 多可町産山田錦は日本一
— 加藤登紀子 日本酒の日コンサート —

多可町の婚活は

問 婚活事業の成果は。

答 「多可の花嫁」では20組のカップルが誕生し、8組が成婚され、うち5組が町内に住んでいます。結婚運営事業は多可町婚活ネットワーク協会が運営し、3回の事業で21組のカップルが誕生していますが、成婚にはいたっていません。

雇用は増えているか

問 緊急雇用就業機会創出等補助金で、1年間にどれくらいの雇用が生まれたのですか。

答 9事業所で29人の雇用が生まれ、27年度は21人が引き続き雇用されています。

福祉タクシーの利用を広げよ

問 28年度からは丹波市のタクシー会社でも使えるようにしては。

答 丹波市のタクシー会社からの申し入れがあれば考えますが、現在はありません。

問 地域によって利用者が少ないが。

答 今後、さらにPRに努めます。

介護の今後は

問 介護給付費は大きく増え、これからも増えていきますが、多可町の介護施設の充足状況はどうなっていますか。

答 多可町の高齢者人口のピークは平成32年、33年になり、そこに向けた整備が必要になってきます。

北播磨広域定住自立圏

加西市・加東市と締結



10月5日に協定を結びました

加西市および加東市が中心市となり、多可町と「北播磨広域定住自立圏」を形成するための協定を結びました。

多可町としてのメリットは

- 公共交通の連携の可能性が広がります。
- 交通インフラ面で、高速道路からの誘導道路の連携ができます。
- 障がい児発達相談を、実施している加西病院からの医師派遣がスムーズになります。
- 児童虐待防止では、情報の共有で質の高い相談業務ができます。
- 図書館の連携でよりスムーズな図書の貸し借りができます。
- 防災対応の連携強化や

合同練習・研修が可能になります。

○災害対策では、非常用備蓄品の相互利用が可能になり、経費の削減が期待できる、などが挙げられます。

西脇市と締結している「北はりま定住自立圏」はどうなりますか。

多可町としては、今までどおり、西脇市との関係を中心に続けていきます。

宮城県村田町と姉妹都市協定を結ぶ

宮城県村田町とは、平成24年10月1日に「災害時相互応援協定」を結んでいます。

この度、友好協定の話が進みました。村田町町制120周年、合併60周年、多可町合併10周年を期に、友好関係をさらに強い「絆」とするために、「姉妹都市協定」を結ぶことに、議会も賛成しました。

条例

マイナンバー制度導入

28年1月からの開始に向けてまずは、マイナンバーの「通知カード」が送られてきます。その後、申請によりマイナンバーカードがもらえます。

通知カードもマイナンバーカードも紛失した時は再交付できます。ただし、初めは無料での交付ですが、再交付は、手数料が発生します。

料が発生します。その金額を定めるものです。

補正予算

子どもたちの安全を確保

八千代小学校統合に向けて、施設整備が進みます。

交通安全施設の工事費150万円はこの工事ですか。

八千代3小学校の統合に向けて、通学路の安全対策の要望が出ていました。危険なところに防護柵を設置します。

小学校の中にプールは必要

八千代南小学校のプールが使えない状態でした。そのため、今年度子どもたちの水泳は、B&Gプールを利用しましたが、バスでの移動が長いことや授業時間を2時間枠で進めなければならぬことなど、不便を強いられ



安全安心な給食を届けます

ふるさと納税の増加に対応

ふるさと納税が増えることにより、謝礼品の額も増えます。その謝礼品分など1910万円を増額します。

ふるさと納税関係の87万2000円の内容は、ふるさと納税にご協力いただいた人に発行する証明書の郵便代などに40万円、インターネット公金取扱手数料に45万4000円などです。

民間委託で良いのか

人員の確保の難しさから、民間委託を含めた話し合いが進められます。

給食センター運営にかかる検討委員会報償費に12万円予定していますが、どのようなことをするのですか。

今年度、官民連携も含め、今後の方向性を決めるため検討します。

今までの学校給食運営委員会でも話し合われたのですか。

昨年1年間、課題として話し合いました。

28年度はもう1年だけB&Gプールを使うことになりました。

その結果、保護者にももっと入ってもらって、話し合いをしようということになり、委員の人数を20人に増やしました。

民間委託も考えているのですか。

調理部門のみ、民間にという考え方もありますが、民間ありきではありません。

会議の頻度はどれくらいを考えていますか。

2ヶ月に一度くらいを考えています。今年度中に結論を出したいと思っています。

検討委員会の中で、何が問題か、またどうすれば問題の解消ができるのか、29年度の実施と決めるにしっかりと話し合っ

て欲しいですが。

新しい委員にも今までの経過を説明して、安全な給食を安定して供給するために、今後どうすれば良いのか話し合いを進めます。

9月補正予算

款	9月補正	補正後の額
議会費	44万円	1億 874万円
総務費	4141万円	16億9004万円
民生費	1003万円	29億6708万円
衛生費	▲54万円	8億4085万円
農林水産業費	1230万円	12億3966万円
商工費	271万円	2億1436万円
土木費	2231万円	9億7491万円
消防費	38万円	10億9218万円
教育費	767万円	16億1532万円
災害復旧費	3170万円	3170万円
諸支出金	4211万円	8651万円
歳出合計	1億7052万円	127億5574万円
特別会計	5260万円	71億9069万円

補正後の額は特別会計全会計の合計です。

*予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

薬害肝炎患者への支援充実を

【請願者】

肝炎友の会兵庫支部 山本宗男会長
B型肝炎訴訟大阪原告団・弁護団
小池真紀子原告団代表 長野真一郎弁護団代表
薬害肝炎訴訟大阪原告団・弁護団
武田せい子原告団代表 山西美明弁護団事務局長

【請願要旨】

国が実施している現行の医療費助成の対象は、インターフェロン治療、核酸アナログ製剤治療など一定の抗ウイルス療法に限定されており、肝硬変・肝がん患者の入院・手術費用などは高額にもかかわらず、助成の対象外です。ウイルス性肝硬変・肝がんに係わる医療費助成制度の創設と身体障害者福祉法上の肝患者に係わる傷害認定の基準の緩和を求めます。

【賛成討論】

肝炎患者の一刻も早い救済を

日原 茂樹

抗ウイルス療法法の適用外の医療行為、肝硬変・肝がん患者の治療費は、深刻な病状と高額な医療費であるのに助成対象にはなっていない。自己負担が大きく、治療断念ということにもなっています。一刻も早い救済を国に求めます。

水道管の耐震化に国はもっと責任を持って

【請願者】

阪神淡路大震災20年事業
水道災害シンポジウム実行委員会 荒木一聡委員長

【請願要旨】

水道管などの耐震化率が全国平均で21・6%です。国の水道施設補助金が10年度の3000億円から27年度予算ベースで300億円にまで落ち込んでいます。老朽管の更新や耐震化の推進のためにも補助金の充実・強化並びに巨大地震に備えるため、国や県、市町を含めた復旧・復興の体制、組織、水道事業者間の広域連携への必要な取り組みを求めるものです。

【賛成討論】

水道施設耐震化へ支援充実を

大山 由郎

巨大地震などの大規模自然災害に備えるため、また水道事業者の厳しい経営環境を考慮し、水道施設の耐震化などへの支援の充実や強化を進めるべきです。災害からの復旧・復興に備え、国や自治体などの組織、水道事業者間の広域連携強化を。



3請願を全員一致

9月定例会には、「ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度の創設と身体障害者福祉法上の肝疾患に係わる障害認定の基準の緩和を求める」、「人種差別を扇動するヘイトスピーチを禁止し、処罰する法律の制定を求める」、「水道施設

で採択 —国に意見書を送付—

耐震化の推進に対する支援の充実・強化等を国に求める」請願が提出されました。これらの請願は、いずれも全員一致で採択し、それぞれ国の機関や国会に意見書を送付しました。

ヘイトスピーチを法で禁止せよ

【請願者】

部落解放多可西脇支部連絡協議会 和田宏議長

【請願要旨】

ヘイトスピーチは人種差別を伴う「犯罪」行為です。日本では全国各地でヘイトスピーチと呼ばれる街宣活動で差別的な発言が繰り返されています。

しかし、現在これらの集団のおこなうヘイトスピーチを、犯罪として規制する法律がありません。「一部の国、民族を排除しようとする言動」や差別の扇動は許されないという「法秩序」を形成していくことが日本に求められています。

また、国連の人種差別撤廃委員会からも、人種や国籍などの差別を伴うヘイトスピーチを法律で規制するよう改めて強く勧告されています。

【賛成討論】

人権が尊重される社会の実現を

吉田 政義

人種や国籍に関する差別を伴う表現行為を伴う行動により、国際社会との関係を誠実に築き上げてきた我が国の品位や名誉が傷つくことが懸念されています。ヘイトスピーチ根絶のため、国内法の整備を進めるよう強く求めます。

次回(12月)定例会日程

12月3日(火)～25日(予定)

※請願の締切日は、11月17日(火)です。



播州織シャツで勢ぞろい
— 多可町議会は播州織を応援しています —



こんなとない これどうなってるの

9月定例会での一般質問は、9月24日と25日の2日間にわたって
11人の議員が行政全般について質問しました。

※内容は次ページからですが、紙面の都合上
カットしている質問があります。

全文は [多可町議会](#)

[検索](#)



Click

質問議員	質問要旨	掲載ページ
大山由郎	子どもの安全教育を徹底せよ	11
安田昇司	急げ豊部バイパスの用地取得 入札の最低制限価格・落札金額はどう決定しているのか (未掲載)	12
	ふるさと納税のお土産品のコシヒカリを契約栽培にしての数量確保をすべき (未掲載)	
山口邦政	ふるさと納税者と関係維持を 2つの民営化案は慎重に	13
廣畑幸子	楮・ラベンダーの育成を広めよう 磁気誘導ループをもっと活用すべき	14
日原茂樹	防犯カメラの速やかな設置を サポートファイルは有効か	15
笹倉政芳	多可町創生に期待する	16
橋尾哲夫	バス通学による児童の安全策は 「精神」を「おしえ」と改めよ	17
	新設プールを建設せよ	
吉田政義	集落公民館の耐震化診断実施を 学校の熱中症対策はいかに	18
	危険空き家解消への具体策を示せ	
清水俊博	集落公民館の機能を整備し防災拠点に 若者定住・子育て世帯への支援充実を	19
	小学校統合に伴う跡地利用は	
市位裕文	移住受入れの機運醸成は集落から 青年に直接働きかけては	20
辻 誠一	定住促進に必要な「仕事作り」の応援を (未掲載)	21

問 子どもの安全教育を徹底せよ 答 安全・安心の教育活動を推進



大山由郎議員

大山 子どもの安全は、わが国、わが町の最重要課題です。多可町では、地域防犯力の向上・安全な環境づくりを推進していますが、現行の安全教育・安全対策は万全ですか。①地域との連携を重視したスクールガードによる「地域ぐるみの学校安全体制」の整備は進んでいますか。②1年生に支給されている防犯ブザーは、子どもの緊急時に間違いなく作動しなければなりません。子どもたちと防犯ブザーの状況は。③地域安全マップは、教育委員会では作成していないようですが、各学校で作成し活用していますか。④子どもの発達に合わせた、各年齢段階でこれだけは身に付けさせたいとする内容を系統的に示す安全プランは作成していますか。⑤子どもの緊急避難場所である「子ども110番の家」は活



地域で子どもを守りましょう

教育長 用されていますか。①地域や関係機関との連携が大切です。教職員、PTA、ボランティアの見守りなどを実施して、安全確保に努めています。②定期的に作動するかどうか、

点検させています。壊れた場合は新しいブザーを購入してもらおうよう、家庭に連絡をします。③各学校では、通学路を中心とした危険箇所を地図に示し、安全確保のために活用しています。また、毎年各学校より危険箇所の

報告を受けて、校区内の安全対策に生かしています。④安全・安心な学校づくりを最優先し、安全意識の向上のため年間指導計画を作成し、子どもたちの発達段階に即した内容で推進しています。⑤地区児童会の場で「子ども110番の家」を周知し、下校指導時には確認もして、緊急事態に備える心構えをもたせています。

大山 「子ども110番の家」ステッカーを子どもたちにより愛される「たか坊」「ふう子」などに一新し、それを機会に地域の皆さんの協力も得て多可町版スタンプラリーを実施してはどうですか。

町長 ステッカー・スタンプラリーは地域の人と顔見知りになるために、非常に有効だと思います。



安田昇司議員

問 急げ豊部バイパスの用地取得

答 早期の完成に町も協力する

安田 これまで数回一般質問もしました豊部バイパスですが、今年度予算で現地測量や詳細設計などを実施しています。地元豊部集落では、推進委員会も立ち上げて応援体制を打ち出されていると聞きます。今後、地元説明を含めどのように進めていくのですか。供用開始は何年度の予定なのですか。

国道なので土木事務所が事業主体であることは百も承知していますが、県予算との調整の中で取りあえずは町予算で実施しておいて、後から県へ有償譲渡というか持ち分調整することも含めて考えて良い道路だと考えます。

とにかく1日も早い豊部バイパス完成が必要だと考えますが町長の見解を求めます。

町長 早期の完成が望まれます。私も国道へなかなか出られ

ないのが朝の状況です。国道から西側の家は全部一緒です。そんな怖さを常に経験しながら暮らしています。命かけて剪定をされている姿を私もたびたび見ます。国道は1路線1公共の中で曾我井バイパスの完了を待っていました。それが完了したので直ちに豊部バイパスにかからせていただく、その手法として県だけに頼るのではなく、町としても協力できることは協力していく姿勢の中でこの道路は建設します。

安田 できるだけ早く、地元へ法線の発表をして、地権者への説明会などを開催すべきです。また用地買収は単年度での買い上げが良いと思います。何人程度の地権者があるのですか。

披露 コンサルの設計ができること買収面積や地権者の数もはつきりします。そうした中で早めに全体説明会



朝は国道になかなか出られません — 国道427号豊部地内 —

を開きます。用地買収は来年度に着手したいので当初予算には間に合わせたいです。
この道路は新たに整備するバイパスなので、ど

こが1カ所でも用地買収ができないと、道路としての機能が果たせません。全ての地権者にご協力いただくことが必要です。

町長

寄付をいただいた人たちにはお礼の商品の発送と同時に礼状を送っています。今後、町のパンフレットの同封とか定期的な町のお知らせ送付とか、再度寄付をしていただいたり、来町していただけるような工夫をしていきます。

「ふるさと住民票」は今後取り組みを進めていかなくはならない制度と思っています。地域創生の政策パッケージでの検討課題として取り上げます。

2つの民営化案は慎重に

山口 加美・八千代の両キッズランドと学校給食センターの民営化案が検討されています。これは将来の多可町を担う子どもたちや子育て世代のご家族が望む方向なのか疑問です。年度初めの町長・教育長の施政方針と逆の方向ではありませんか。民営化を前提とした

議論は絶対にしないでほしいです。民営化を推し進めるならデータを示し、広く住民の意見を聞き、大多数の賛同を得た上でかじ取りするのが行政トップの責務ではありませんか。

十分に意見を聞き検討する

教育長 両キッズランドは、「子ども子育て会議」で十分協議して28年度までの2年間で保護者との話し合いの場を設けたりして平成29年3月に最終決定します。給食センターは、調理業務のみを民間委託することを検討委員会で協議していきます。27年度中には、結論を出したいと考えています。

いずれも、保護者や関係機関の意見を十分に聞きながら検討をしていきます。

問 ふるさと納税者と関係維持を 答 ふるさと住民票制度を検討



山口邦政議員

山口 昨年のリニューアルや本年4月からの手続き簡素化により、「ふるさと納税者」が急増しています。寄付者は、一度は多可町に興味・関心を持っていただいた貴重な多可町の応援団です。この人たちとの関係を永く深く続けていくことが



調理後も明日に備えてしっかりチェック — 多可町学校給食センター —

交流の促進や「Uターン」のきっかけとなると思っています。寄付金の受付時の丁寧なフォローが重要です。また、町との関係を維持するために独自の「ふるさと住民票制度」を導入する考えはありませんか。



廣畑 幸子 議員

問 ^{こうそ} 椿・ラベンダーの育成を広めよう
答 栽培にご協力頂きたい

廣畑 「杉原紙」は、兵庫国体などで「賞状」として活用。小学6年生が、世界に一つしかない自ら漉いた卒業証書として宝物にしています。しかし、「ここ2年材料の「椿」は、減産。ストックはあるものの、材料の確保は大事なことです。旧加美町では、一戸一株運動を進めましたが、全ての株が残っているわけではありません。中区や八千代区の皆さんにもご協力をお願いしては。興味のある人や栽培したい人はいるはず。また、「ラベンダー」もそうです。町内で栽培・抽出されたオイルは安心と喜んで頂いています。今年度新しいオイルの抽出機も入りました。オイルがたくさん採れば、安価で皆さんに使っていただけます。「椿」も「ラベンダー」も生き物です。少しでも早く動くべきです。

町長 杉原紙研究所では前年度の「椿」の枝と根茎を活用、挿し木法などで苗を作る研究を始めています。「ラベンダー」は、北播磨ラベンダーで、耕作放棄地や転作田などを活用した栽培を、地元の協力を得ながら進めています。新しいオイルの抽出機は、今までの25倍の精製能力があります。広く栽培のご協力を頂きたいと思えます。

廣畑 「磁気誘導ルーブ」とは、聴覚障害者用の補聴器を補助する放送設備のことで、難聴の人には、頼もしいものです。町内の施設では「ベルディーホール」や「アスパル研修室の床」などに設置。最近では、ライオンスクラブから町に寄贈もされています。しかし、周知・活用となるとどう

磁気誘導ルーブをもっと活用すべき

機会を捉えて活用する

でしょう。「せっかく寄贈したのに、使っていないの。」や「そんなのあるの。」などの言葉が。これでは宝の持ち腐れでは。

健康福祉課長 アスパルには、窓口用と多人数の対応が可能な会議用の2種類を用意しています。高齢者



ラベンダー 挿し木で苗を増やします



日原 茂樹 議員

問 防犯カメラの速やかな設置を
答 前向きな対応をする

日原 犯罪が多様化、凶悪化する中、未成年者が連れ去られ被害されるなど、若年層が犯罪に巻き込まれるケースが増加しています。近年、防犯カメラは様々な場所で普及しています。駅や道路、公園といった公共空間で防犯カメラを多く見かけるようになりまし。防犯カメラを設置することにより、ひったくりや窃盗犯罪などの抑止や犯人検挙への活用が期待できます。また、通学路や公園に設置することによって、子どもを犯罪から守る効果もあります。多可町でも通学路や学校公園、商店街などを中心に防犯カメラを速やかに設置するべきです。

町長 子どもの安全を守っていく中で防犯カメラの設置は大事であると認識しています。防犯カメラは、他市町においても設置がかなり進んでいて、町内でも町民の関心が高まっています。県では、地域の見守り力の向上のため、自治会などの団体が設置する防犯カメラの経費に対して補助をしています。全額補助ではないので多可町では申請実績はありません。この補助制度を考慮して防犯活動のために防犯カメラをいかに有効に機能させるかを考えて、設置には前向きな対応をしていきます。

サポートファイルは有効か
日原 発達障害児と保護者や周りの人たちと情報を共有するサポートファイルが活用されつつあります。このファイルは、成長や発達の様子を乳幼児期から成人期に至るまで継続して、記憶整理する支援のためのツールです。しかし、ファイルの存在を知らない保護者も多く、教育現場では、先

運営部会で有効活用検討

教育長 多可町では学校と行政が深く関わり、先駆的に取り組んできました。学校園長

生方の考え方により有効に活用されていないという声も聞きますが、サポートファイルは有効活用されていますか。

や特別支援コーディネーターなどで構成するサポートファイル運営部会で検討を重ね、有効活用できるように努めています。今年度、「健やかな発達を応援する多可町サポートファイル」というチラシを全学校園に配布をし、周知します。



しっかり見えています 防犯カメラ



笹倉 政 芳 議員

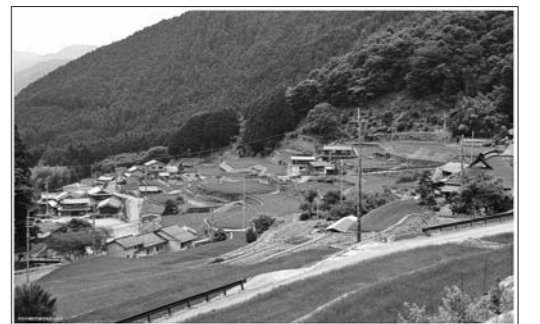
問 多可町創生に期待する

答 危機感と期待感の融合で執行する

笹倉 9月28日の最終多可町総合戦略策定に、いかに魂を注ぎ、住民、企業などの意見を十分に聞き入れ、地域に密着した内容になっているか、しっかりとした具体案を示すことによって、住民が期待感を持つことができるものだと確信をしています。多可町総合戦略の一番の柱は何ですか。

また、政策パッケージの戦術に対しては、自らが行動し、住民や企業が「これはおもしろい、ぜひやってみよう、これが実現すれば地域は変わる」というわくわくさせるものでなくてはならないと思います。行政と住民・企業との連携・協力を体制を密にして、それをやり切る強い絆が生まれなくてはなりません。そのためには、大胆な規制緩和や財源の確保が不可欠です。しかし、その財源である新型交付金は、1800の自治体を考慮

すれば、わずか1000億円です。住民や企業が期待している今後の地方創生に、多可町独自の予算措置はどの程度のもので検討しているのですか。



ちよつと ベンリな田舎。 多可町です。

田舎で暮らしたい。でも、子育てするのはちよつと。そんなあなたに、多可町です。のどかな自然に生まれながら、大抵京都・神戸には約1時間半程度でアクセスできます。はじめてみませんか。かぞくみんなで、多可町1年生。

町長 今回の多可町創生総合戦略の柱は、
①自分に合った「しごと」を選べる「まち」
②住みたい田舎として選

ばれる「まち」
③女性に優しく、女性から選ばれる「まち」
④健康と交流と安心・安全の魅力で選ばれる「まち」の4つです。

自らの生き残りをかけた重要な課題、命題であるという認識の中で取り組んでいきたいと思えます。国が示した来年度予算案は、ある意味少額という認識をしています。予算面での充実が求められるのは当然ですが、予算的に満足でなくても、関係者の知恵と工夫、そして熱意で対応していきたいと思っています。危機意識とわくわくする期待感をうまく融和し、多可町がいつまでも残れる町としてプラチナプランを練り上げ全力で執行していきます。



橋尾 哲 夫 議員

問 バス通学による児童の安全策は

答 関係機関と調整中



新しいプールに生まれかわります — 八千代南小学校 —

橋尾 八千代小学校のバス通学で、
1 屋根付きバス停を設置すること。
2 バス停には横断歩道を設置すること。
3 大和線の速度制限。

4 赤坂バス停にバスベイを設置すること。
教育長 1 点目の屋根付きバス停は困難です。しかし、問題があれは屋根付きもあり得ますのでゼロではありません。

統合準備委員会と協議する
教育長 「精神」を「おしえ」と平仮名で表記するかどうかは、

せん。
2 点目の横断歩道は、県の公安委員会に要望していきますが、全て認められるかわかりません。
3 点目の速度制限は、現行の速度規制を強化するのは難しいです。
4 点目の赤坂バス停のバスベイの設置は、歩道が狭くなりますので、今のところ設置の計画はありません。今後の運行状況に注意していきたいと思えます。

新設プールを建設せよ
橋尾 八千代小学校のプールを新設し、来年7月までに完成させ、統合初年度から児童が使用できること。

耐震補強の全面改修計画
教育長 9月議会でプールの全面改修工事の設計委託料650万円を計上しています。国の耐震補強の補助を受け工事を実施する計画で補助申請をしています。採択されれば28年度の事業着手となる予定ですが、来年7月からの使用は難しいです。

子どもや保護者に統合してよかったと実感していただけよう頑張っています。



吉田 政 義 議員

問 集落公民館の耐震化診断実施を

答 耐震化補助金を県に要望

吉田 町では昭和56年5月以前築の住宅に、「耐震化を促進する」「地震に対する建築物の安全性に関する意識啓発を図る」ため、本人負担なしで「簡易耐震診断推進事業」を実施しています。

集落公民館は地域住民同士が、親睦を深めながら、豊かで住みよい町づくりと人づくりを目指して、自主的に運営し、防災の拠点、避難所にもなる所です。町としても大切な場所です。そこが耐震基準を満たしていないとなると、大変です。まず、集落公民館の耐震診断を実施すべきです。

町長

一時避難所でも防災面の強化は必要と思っています。

町では、耐震診断や改修補強の工事は、集落施設等整備事業やコミュニティ事業で対応できまので、活用可能です。また、政策課題、要望課題として、町村会から県

や国にも要望する機会があります。そして、県の補助制度の確立を求めていきたいと思えます。集落公民館も耐震化は必要と考えています。

学校の熱中症対策はいかに

吉田 熱中症は7月8月だけでなく、5月や6月でも急に気温が上がる日や、残暑が厳しい9月以降でもかかる恐れがあります。熱中症にからないためには、水分をこまめに取ることで、できる限り暑さを避けることです。9月には体育祭や運動会があります。部活動も活発になる時期です。まだまだ、熱中症の危険性があります。学校での熱中症対策を聞きます。

健康管理に細心の注意を払おう

教育長

夏場における暑さ対策は重要な課題と考えます。そのため、3つの対策をして



半世紀村の拠点として頑張っています — 鍛冶屋公民館 —

います。
1 点目は、26年度より順次小・中学校に天井扇の設置を進めています。
2 点目は運動会などの練習時、グラウンドには、テントを張り、すぐに子どもが休めるようにしたり、熱中症対策用の保健バッグを準備して、迅速

に対応できるようにしています。3 点目に中学校の部活動では、運動量の軽減や十分な水分補給とともに、指導者は研修などで熱中症に対する認識を深めています。また生徒には、気分が悪い時は先生にすぐ訴えることを徹底しています。

集落自治・防災拠点と認識し整備を検討

町長

集落公民館は、自主防災の基幹施設と認識しています。また地域包括ケアにも活用可能です。
必要な整備は、国交省の小さな拠点住民自治の

基幹施設整備事業で整備可能です。
これらを活用し、集落から要望のある不要な火の見櫓の撤去助成を検討します。

若者定住・子育て世帯への支援充実を

清水 地方創生にとって、移住希望者の受け入れは必須です。役場に専門窓口が必要ではありませんか。また、子育て、ひとり親世帯への支援や町営住宅入居基準の見直しなど、きめ細かな施策で人口問題に対処すべきです。

最重要課題とし危機感を共有し対応する

町長

定住移住コンシェルジュの設置でサポート体制を充実し、「選べるまち、選ばれるまち」へ総力をあげて取り組みます。

問 危険空き家解消への具体策を示せ

答 総合的課題と認識し早急に取り組む



清水 俊 博 議員

清水 住環境を含め社会が急激に変化しています。自身の一般質問も含め生活環境常任委員会の数度にわたる所管事務調査および町内空き家の現地調査実施、更には区長会との連携などその解消に向け議会も積極的に取り組んでいます。

解消に向けた、住民への周知方法、多可町の独自策、具体的な工程は。

町長

空き家の維持管理は所有者・管理者の責務ですが、特別措置法の制定を受けて町内の空き家358件、774棟を精査し特定空き家と認定した場合は、代執行を含め法的手続きを実施できることになっています。

必要な条例は、年内をめどに制定します。

集落公民館の機能を整備し防災拠点に

清水 全国で大災害が頻発しています。災害時



活躍中の公民館 — 安楽田 —

の避難場所や防災拠点として集落公民館をしっかりと位置づけ、それにふさわしい施設として整備すべきではありませんか。また集落公民館には、地域包括ケア機能や農作物の販売拠点としての機能も必要だと思えますがいかがですか。



市位 裕文 議員

問 小学校統合に伴う跡地利用は

答 学校跡地活用庁内検討委員会で検討

市位 昨年的一般質問で8月には町としての跡地利用の方針を示すと言われていたが、どのようにするのか方向を示してください。

特に八千代北小学校は、区長会が中心になり八千代北小学校跡地活用連絡会を立ち上げ、サテライトキャンパスとしての誘致に努力されています。その対応はどのようにしていますか。

また、八千代西小学校は、アンケート結果を参考にしている対応はどのようにしていますか。

その対応次第では、のちの加美、中の学校統合にも問題になります。確実に来年4月には八千代西小学校は完全閉校になります。



136年の歴史に幕を閉じます

議に入ります。サテライトキャンパスについては、創生プランの中に大学との連携(専門学校も含めて)があります。この間お越しいただいた上田安子服飾学院、また神戸大学、県立大学、京都女子大学、神戸学院大学など今連携がすでに始まっていますので、それを繋げていって若い活力を身近で感じられる町にしていきたいと思っています。空き施設ができることをプラスに生かしていくために、地方創生プランと絡めて連携ができればと思っています。

町長 学校の跡地活用は、活用の重要な方針の検討、調整をすることを目的に多可町学校跡地活用庁内検討委員会を立ち上げています。

八千代北小学校は当面仮庁舎として活用します。八千代西小学校は、外には見えない中での調整を続けていることは事実

です。努力を重ねていることへのご理解をいただきたいと思えます。ある程度話がまとまりましたら区長さんとの協

「定住の受け皿」を設定し、定住受入れの機運の醸成をされています。多可町でも「定住の受け皿」を設定してはいかがでしょうか。

町長 地域が移住者を受け入れる意識の醸成は必要ですが、少し時間がかかります。

まずは既にUターン、Iターンされてきた人に定住や移住のコンシェルジュとして活躍していただきたいと考えています。また宅地分譲や空き家の有効活用なども含めて、総合的に移住、定住の促進策を考えていきます。

町長 毎年多くの若者が町外に転出しています。先日数人の高校生と話をしましたが、町外に転居を考える理由は「多可町には仕事がないから」との回答でした。一方町内企業は、地元の青年はなかなか働きに来てくれ



辻 誠一 議員

問 移住受入れの機運醸成は集落から

答 まずは移住コンシェルジュを配置したい



多可町の未来を託したい — 多可高校体育大会 —

辻 地方創生は、Uターンを受け入れて必要な人口を目指すことが中心です。次世代定住を呼び込む地域側の取り組みとして、まずは、そ

れぞれの地元を受け入れる意思や条件が生まれていることが肝心です。中山間地への若者の「帰郷」に一定の成果を上げておられる島根県では、

ないと言えます。子どもたちにはしっかりと多可町の現状を伝え、自らの意思で、積極的に多可町居住を考えてもらえるよう「教育」と彼らの声をしっかりと聴く仕組みが必要ではありませんか。

町長 「声」を聴く仕組みは残念ながら町内には教育委員会にはありません。

このことを通じて自分が生まれ育ち、住んでいる地域への愛着と誇りを醸成していきます。

高校生の世代はネット社会の申し子です。ネットを通じた情報提供や、意見交換の場の設定を考慮してみます。

空き家の有効活用で移住者増を

— 空き家条例を検討 —
現在町内には、把握されているだけで約600棟の空き家があります。委員会ではこれまで増大する空き家を有効活用し、インターン、Jターン、Uターン希望者の住居として活用できるよう先進地の視察などを重ねてきました。



身近にある放置空き家

危険な空き家を指定して行政が撤去を指示できる「空家等対策の推進に関する特別措置法」が制定されたことを受けて、議員発議で「空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例」を提案するために7月27日から検討を重ねてきました。

空き家を危険空き家にしないことが重要

現在委員会で検討している条例は、空き家所有者の責務と町の関わりを明確にします。この条例で、空き家が放置され「危険空き家」になる前に活用されることが目標です。

今後、行政とも協議を重ね来年春の公布を目指します。

全町規模で

地域包括ケア実現へ

8月10日、隣の神河町議会の全議員が、研修で来町されました。研修内容は、「多可町地域包括ケアネットワーク」の取り組みで、多可町議会も研修に同席し勉強をさせていただきました。

講師は、ネットワーク

の立ち上げ時から中心的存在として携わっていただいている多可赤十字病院の松浦尊磨院長です。農山村地域の諸課題の説明のあと、多可町における地域包括ケアの取り組みについて説明を受けました。講演の中で、医療・介護・福祉・行政・



話に聞きいる神河町議会議員の皆さん — 中央公民館 —

地域の連携による高齢者をめぐる地域包括ケアの基盤づくりの重要性を強調されていました。国も団塊の世代が75才となる2025年をめぐり、要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、地域包括ケアシステムの実現を目指しています。「いつまでも、安心して、住み続けることができる多可町を目指して」全町規模での取り組みが必要と再認識しました。



講演される松浦尊磨院長

神河町に学ぶ学校施設の活用

廃校をサービス付き高齢者住宅として活用



こんな施設があったら安心 — 神河町 —

サービス付き高齢者住宅とは介護・医療と連携し高齢者を支援するサービスを提供するバリアフリー構造の住宅

8月24日、神河町の南小田地区に今春開設されたサービス付き高齢者住宅「にょん神河」を視察してきました。神河町役場を過ぎて車で約10分。周囲を山に囲まれたのどかな環境の中、2階建てのリゾートホテル風の建物が目的地的サービス付き高齢者住宅。25年3月までは南小田小学校でした。この施設、サービス付き高齢者住宅と併設して元幼稚園舎を活用した小規模多機能施設と体育館を活用したデイサービス

も実施。この施設がかつて小学校だったとわかるのは、玄関先の卒業生の残した記念作品のみ。かつてのプールは観賞用淡水魚の泳ぐ池に、運動場には家庭菜園ができる「畑」も完備されています。これまで委員会では、廃校を活用した宿泊施設などを視察してきましたが、サービス付き高齢者住宅として活用しているこの小学校は、これまで視察してきたどの施設よりも地域の高齢者が集う憩いの場として活用されていました。来春に小学校としての役割を終える八千代の小学校を地域の活力の中心となる施設になるように、委員会としてもしっかりと調査をしていきます。

〈議会の活動報告〉

- 7月**
- 1日 全議員研修（福島県南相馬市）
 - 2日 監査委員協議会臨時総会・研修会
 - 3日 監査委員協議会臨時総会・研修会
 - 7日 播磨中郡高原森林基幹道推進協議会会計監査北はりまハイランド推進協議会総会
 - 議会広報編集特別委員会
 - 地域農業再生協議会総会
 - 9日 隣保館運営委員会
 - 議会広報編集特別委員会
 - 多可町図書館協議会
 - 10日 兵庫県町議会議長会議長研究会
 - 13日 兵庫県町議会議長会議長研究会
 - 14日 議員研修（JIAM）
 - 15日 議会広報編集特別委員会
 - 議員研修（JIAM）
 - 16日 決算監査
 - 観光協会監査
 - 議員研修（JIAM）
 - 17日 決算監査
 - 議会広報編集特別委員会
 - 議会運営委員会
 - 21日 決算監査
 - 22日 神河町行政視察
 - 23日 市川町町制60周年記念式典
 - 24日 総務文教常任委員会
 - 27日 生活環境常任委員会
 - 28日 決算監査
 - 多可赤十字病院運営協議会
 - 29日 決算監査
 - 議員研修（JIAM）
 - 30日 創生懇話会
 - 北はりま消防組合議会臨時会
 - 第10回多可町ふるさとの夏まつり第2回実行委員会

- 8月**
- 31日 議員研修（JIAM）
 - 合併10周年記念 東国原英夫講演会
 - 北播政経懇話会
 - 北播政経懇話会
 - 議員全員協議会
 - 議会広報編集特別委員会
 - 3日 決算監査
 - 議員研修（JIAM）
 - 議員研修（JIAM）
 - 4日 滋賀県豊郷町議会視察来町
 - 5日 生活環境常任委員会
 - 6日 神河町議会視察来町
 - 10日 国道427号期成同盟会監査
 - 11日 わかあゆ園決算審査
 - 北はりま消防組合決算審査
 - 12日 加古川中流域期成同盟会監査
 - 13日 監査講評
 - 18日 町営住宅入居者選考委員会
 - 19日 総務文教常任委員会
 - 20日 生活環境常任委員会
 - 多可町民の集い
 - 21日 第3回第3次地域福祉計画策定委員会
 - 24日 議会運営委員会
 - 神河町議会との合同研修
 - 25日 監査意見書提出
 - 26日 北はりまハイランド・ふるさと街道整備促進期成同盟会総会
 - 加古川中流域並びに国道427号 東播中支田市原線整備促進期成同盟会総会
 - 27日 議会運営委員会
 - 議員全員協議会
 - 28日 播磨中郡高原森林基幹道推進協議会総会
 - 表彰審査委員会
 - 30日 織物感謝祭
 - 手をつなぐ育成会ふれあいミニキャンプ

- 9月**
- 2日 第65回多可町議会定例会
 - 予算決算特別委員会
 - 3日 北播政経懇話会
 - 4日 予算決算特別委員会
 - 7日 予算決算特別委員会
 - 総務文教常任委員会
 - 9日 予算決算特別委員会
 - 11日 予算決算特別委員会
 - 12日 中学校体育祭
 - 13日 おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展表彰式
 - 14日 第20回自衛消防競技大会
 - 議会広報編集特別委員会
 - 15日 喜寿敬老会
 - 16日 総務文教常任委員会
 - 議会運営委員会
 - 17日 予算決算特別委員会
 - 18日 生活環境常任委員会
 - 20日 小学校運動会
 - 23日 遺族会中支那秋季戦没者追悼式
 - 24日 第65回多可町議会定例会
 - 議員全員協議会
 - 表彰審査委員会
 - 25日 第65回多可町議会定例会
 - 青少年健全育成大会
 - 28日 月例監査
 - 創生懇話会
 - 29日 社会福祉協議会第2回理事会
 - 予算決算特別委員会
 - 議会運営委員会
 - 30日 社会福祉協議会第2回評議員会
 - 議員全員協議会
 - 第65回多可町議会定例会